

台風、大雨等に対する畜産被害防止



- ◆台風14号はゆっくり進み、10～11日頃に西日本に接近・上陸するおそれがあります。
- ◆それに伴い、西日本で暴風や大しけとなり大荒れの天気となるおそれがあります。土砂災害や河川の氾濫、低い土地の浸水などに警戒し、人命を第一に考えて危険な場所は回避してください。

<事前の対策>

- ・施設の必要な修繕・補強、浸水経験がある場合の土嚢等の準備
- ・家畜に被害が及んだ経験がある場合の避難場所確保
- ・酪農における搾乳、生乳冷却、養鶏におけるファン等温度管理に関する停電時の電源確保
- ・不測の事態を想定した飼料、燃料の一定量確保(概ね1週間分)
- ・異常気象時の飼養管理、作業の変更プラン立て

<被害拡大防止のための対策>

- ・天候回復後に安全を確保した上での施設・設備の点検
- ・施設等に破損、故障、汚染を認めた場合は早急に補修、洗浄、消毒
- ・汚染、腐敗していない水、飼料の家畜への給与
- ・機器等の通電再開に際しては取扱説明書で手順確認、漏電にも注意
- ・飼料作物が被害を受けた場合は品質が劣っている可能性を念頭に置く
- ・冠水や浸水で湿った飼料は家畜、家きんに与えないこと
- ・何か被害があれば当所までご連絡ください

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

TEL : 0773-25-1860 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)

FAX : 0773-25-1861